

調査区調査前全景 (右が北)



調査区第4次調査全景 (上が北)



第5次調査区全景 (西南から)



調査区北部土塁・溝 (西から)



調査区北部土橋 (南東から)



土橋断ち割り (黒い部分が埋め戻す前の溝) (南東から)



焼土坑1 (黒い部分が炭化物、赤い部分が熱を受けたところ) (北から)



焼土坑2 (黒い部分が炭化物、赤い部分が熱を受けたところ) (東から)



調査区南部全景 (北西から)



調査区南部全景 (北から)



虎口(A) (西から)



虎口(A) (南西から)

田辺城跡(第5次)略測図(1:500)

## 見つかった主な遺構

調査区北部で確認した土塁・溝は、第4次調査の土塁（B）から続くもので、田辺城跡北端を防御する土塁（A）から分岐しています。北端の土塁（A）よりは新しいものですが、調査区東にもつづいています。内側の溝を掘削し、土塁（B）の盛土としていますが、性格や築造時期は不明です。

土塁（B）・溝は調査区東部で途切れている部分があり、土橋として利用していたと考えられます。この土橋は当初は続いていた溝を埋め戻して造られています。

調査区南部では、土塁・溝や虎口（A）・（B）を確認しました。南北方向に道路跡の可能性のある土塁や溝があり、土塁や溝が途切れる部分は虎口と考えられます。2か所で確認でき、いずれも土塁を屈曲させることにより空間を設け、外部から直線的に侵入することを防ぐ工夫である枡形虎口となっています。東側が調査区外であるため不明ですが、東側に屋敷地が存在する可能性があります。

その他、第1～4次調査で見つかった底部や壁面が焼け、炭化物を多く含む土坑（焼土坑）を確認しました。今までと同様に遺物は出土しませんでした。

## 出土遺物

今回見つかった遺物は、中国からの輸入品である白磁の皿2点のほか、陶器挿鉢などがあります。これまでの調査でも遺物は大変少なく、田辺城跡の特徴といえますが、今回は特に少ないという結果となりました。



## まとめ

今回の発掘調査で、東海環状自動車道建設に伴う田辺城跡の発掘調査は終了となります。

今回の発掘調査では、今まで以上に遺物は少なく、建物跡などの遺構もみつきりませんでした。これまでの調査と合わせると、北限の防御施設や城内の道路、道路と屋敷地を結ぶ虎口などは嚴重に造成しているものの、建物跡などの生活に伴う遺構や遺物が非常に少ないという特徴があります。

道路西側については土塁や門で区画された掘立柱建物や礎石建物、石敷き遺構などをもつ屋敷地がありますが、東側についてはあまり利用されなかったことが考えられます。道路西側と東側では5mほどの高低差があり、より標高の高い西側が生活には適していたものと考えられます。しかし、西側でも遺構・遺物は少ないことから、田辺城跡で生活が営まれたのはごく短期間と考えられます。今後はその理由について検討していく必要があります。

遺跡名 田辺城跡  
原因事業 東海環状自動車道建設事業  
調査委託 国土交通省中部地方整備局  
調査主体 三重県教育委員会  
調査担当 三重県埋蔵文化財センター 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503  
TEL:0596-52-1732/FAX:0596-52-7035 <https://www.pref.mie.lg.jp/MAIBUN/hp/>  
いなべ整理所 〒511-0415 三重県いなべ市北勢町東貝野 454 番地  
TEL:0594-72-8955/FAX:0594-72-8970

# 東海環状自動車道 発掘調査だより

(田辺城跡（第5次）発掘調査現地説明会資料) いなべ編 No.13

三重県埋蔵文化財センター

2021.10.23



北端土塁・溝・土橋（西から撮影）

## はじめに

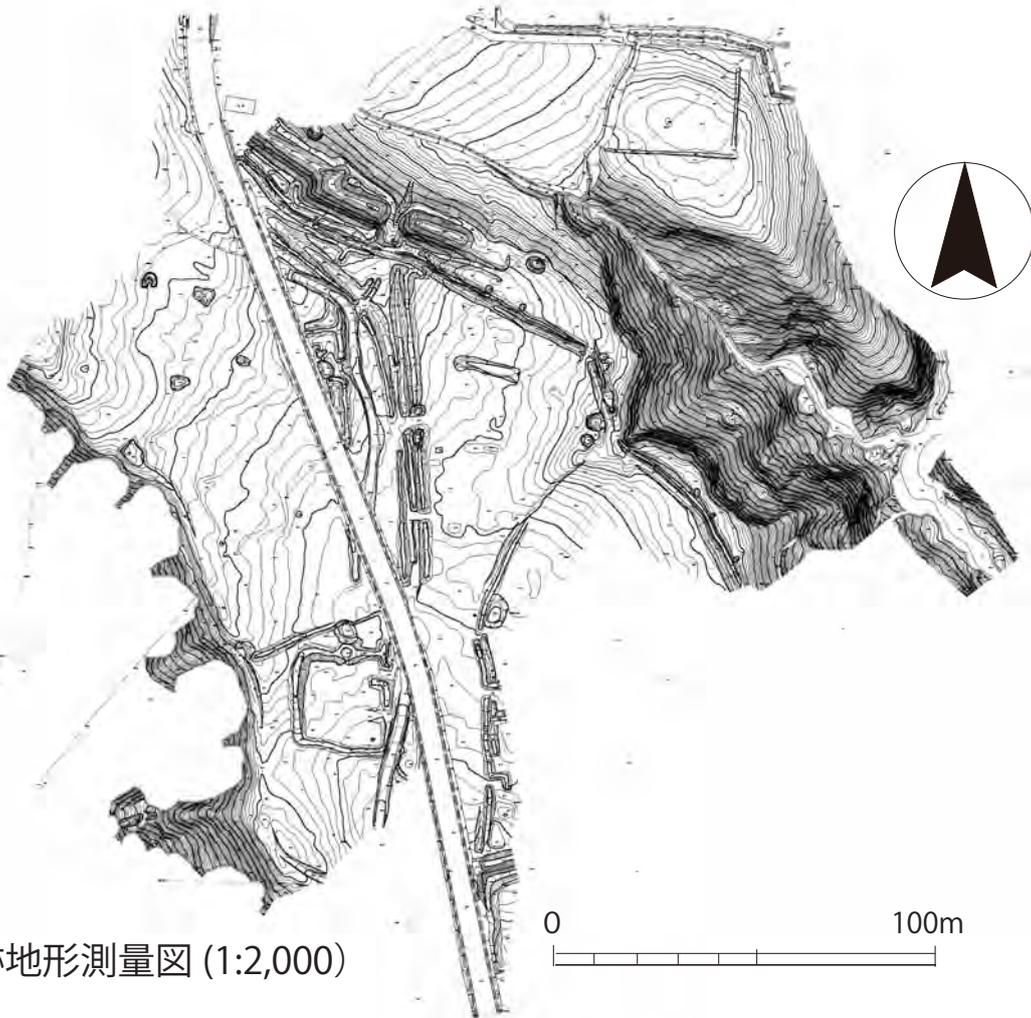
三重県埋蔵文化財センターでは、平成29年度から東海環状自動車道建設事業に伴い、いなべ市北勢町田辺にある田辺城跡（たなべじょうあと）の発掘調査を行っています。田辺城は、戦国時代末から安土桃山時代に築城されたと考えられる城ですが、詳しいことはわかっていません。

調査地は、主郭から約400m北に位置しており、家臣の屋敷地が想定される場所です。これまでの調査では、北端に巨大な土塁・堀、土橋などを設けて北からの侵入を防御していること、土塁や溝で道路や屋敷地が区画され、掘立柱建物や礎石建物、「蔵」と考えられる石敷き遺構や門などが造られていたことなどが明らかとなっています。

今年度は、第4次調査区の東側・南側で、3,700㎡の発掘調査を行いました。第4次調査から続く土塁や溝、土塁を屈曲させて直線的に侵入するのを防ぐ枡形状の出入り口が見つかりました。



田辺城跡調査区周辺縄張図 (1:2,000) (伊藤徳也『再発見・北伊勢国の城』2008年に加筆)



田辺城跡地形測量図 (1:2,000)

